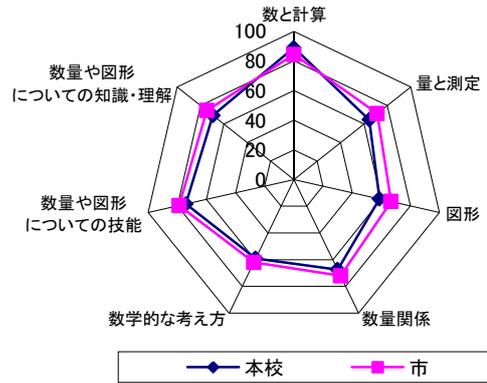


宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	88.8	84.3
	量と測定	64.6	71.3
	図形	58.7	66.7
	数量関係	67.4	72.1
観点別	数学的な考え方	59.1	62.0
	数量や図形についての技能	74.2	78.8
	数量や図形についての知識・理解	69.3	74.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な分数の計算については、正答率がほぼ100%に近く、市の平均を大きく上回った。基本的な計算については、十分理解されている。 1Lの重さを求める文章題については、正しい分数÷分数の計算式を選ぶことができていない。分数を分数で割ることの意味が十分に理解されていないことがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算については、よくできているので、忘れないように宿題等で継続的に計算に触れるようにしていきたい。 分数÷分数の計算を扱った文章問題についても、もう一度復習し、その意味をしっかりと理解させるようにしたい。特に、「1」を求める問題については、基本であるので、繰り返し指導したい。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> 速さと時間から道のりを求める問題の正答率が低かった。誤答を見ると、問題文に出てきた数字を、よく考えずに公式にあてはめられていると考えられる児童が半数である。「時速」の意味をしっかりと考えていない様子が見える。 面積や体積を求める問題では、できているものでもできていないものがはっきりしている。ひし形の面積・三角柱の体積がきちんと求められなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 速さの学習では、道のりと時間の単位に気を付けて問題に取り組むことが非常に難しい。また、「速さ」が意味しているものについても理解が不十分である。この単元は、授業の中でも、混乱する児童が多かった。学年のまとめの中で、再度、ていねいに指導することで理解できるようにしていきたい。 面積・体積の公式については、再度確認をするとともに、練習問題を解くことで、定着を図りたいと思う。
図形	<ul style="list-style-type: none"> 図形に関しては、ほぼすべての問題において、正答率が市の平均を下回っている。特に、円周を求める問題における正答率が低く、半径・直径・円周の関係が正しく理解されていないことがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 5学年で学習した内容からの出題であった。時間の経過とともに忘れてしまったということもあり、十分に定着していないことが明らかになった。再度、確認するとともに、練習問題に取り組むことで復習をしていきたい。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> 文字を使った式については、正答率もよく、市の平均とほぼ同じであるため、理解はされていると考える。 反比例の関係をを用いて数量を求めること、与えられたデータから割合を求めること、割合から比較量を求めることに関して、特に正答率が低く、きちんと理解されていないことがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「比例・反比例」「割合」については、特に理解が困難な単元であった。出題は5学年で学習した内容からであったが、6学年での学習内容も含めて、再度、ていねいに復習し、練習問題等に取り組ませたい。